

魂のシャコンヌ

Wladimir Kossjanenko (Vla) & Haruo Uesugi (Pf) Duo Recital

ヴラディミール・コッシャネンコ (ヴァイオリン) 上杉 春雄 (ピアノ) デュオリサイタル

—バッハのシャコンヌを弾くことで、最も困難な時を生き延びることができた—

S. ストラヴィンスキー：イタリア組曲

Stravinsky: Suite italienne

F. シューベルト：アルペジョーネソナタ D821

F. Schubert: Sonate für Arpeggione und Klavier a-Moll D 821

J.S. バッハ：シャコンヌ (ヴァイオリン版 / 無伴奏ヴァイオリンパルティータ第2番 BWV1004より)

J.S. Bach: Chaconne aus der Partita Nr. 2 d-moll BWV1002

B. パパドプロ：スケルツォ (ヴァイオリンソナタより)

B. Papandopulo: Scherzo from Sonata for viola and piano

P. ヒンデミット：ヴァイオリンソナタ 作品11-4

P. Hindemith: Sonata Sonate für Bratsche und Klavier Op. 11, No. 4

東京公演

2026年10月28日(水)

19:00 開演 (18:30 開場)

ルーテル市ヶ谷ホール

JR 総武線 / 都営地下鉄「市ヶ谷駅」徒歩7分
東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」徒歩2分

札幌公演

2026年10月26日(月)

19:00 開演 (18:30 開場)

ザ・ルーテルホール

地下鉄「大通駅」1番出口 徒歩3分

東京公演 全席自由

一般 / 4,500円 学生 / 2,000円

札幌公演 全席自由

一般 / 4,000円 学生 / 2,000円

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード 332403) (両公演)

道新プレイガイド / 市民交流プラザチケットセンター TEL 0570-00-3871 (札幌公演)

ミリオンチケット <http://millionconcert.co.jp/> | 検索 | ミリオンコンサート (両公演)

後援：駐日クロアチア大使館 / スプリト大学芸術アカデミー (クロアチア)

コンサートマネジメント：ミリオンコンサート協会 TEL 03-3501-5638



魂のシャコンヌ

「バッハのシャコンヌを弾くことで、最も困難な時を生き延びることができた」

20世紀の終わり、活動を制約された祖国からの亡命、国際的に活動が本格化しはじめた矢先の祖国の崩壊と国籍喪失…20年近く前、一緒に行ったコンサートの岐路、山道を運転しながら語ってくれた話を忘れることができません。

この曲とともに生き、度重なる苦難を温かい人柄で昇華させてきた音楽家の演奏をお聴きください。

上杉 春雄

ヴラディミール・コッシャネンコ (ヴィオラ) Wladimir Kossjanenko, Viola

旧ソ連・カザフスタン生まれ。サンクトペテルブルク音楽院でヴラディミール・ストピチュフに師事、同時にイリヤ・ムーシンの指揮クラスに学び、1991年クラウディオ・アバドが設立したグスタフ・マーラー・ユーゲント管弦楽団からの招待を受け家族と離れウィーンへ移住。ウィーン音楽演劇大学でハンス・ペーター・オクセンホーファーおよびトーマス・カクシュカに師事し1999年、優秀な成績で芸術修士号を取得。その後、ベルギー・アントワープ王立音楽院でミハイル・クーゲルの教えを受ける。また、ノルベルト・ブライニン(アマデウス弦楽四重奏団[以下SQ])、ウォルター・レヴィン(ラサールSQ)、ギュンター・ビヒラー(アルバン・ベルクSQ)、ミラン・シュカンパ(スメタナSQ)、ジョエル・クロスニック(ジュリアードSQ)、アイザック・スターンらのマスタークラスで貴重な芸術的経験を積んだ。

在学中よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場、ザルツブルク音楽祭へ客演。1994年から1998年にはグラーツ・フィルハーモニー管弦楽団およびグラーツ歌劇場の首席ヴィオリストを務めた。

1997年、第6回ライオネル・ターティス国際ヴィオラコンクール(イギリス・マン島)でユニオン基金・マネジメント賞を受賞し、ペレヌード財団(スイス・ヌーシャテル)の特別賞とメダルを授与された。

1998年から2007年にはフーゴ・ヴォルフ四重奏団のメンバーとして活動し1999年ヨーロッパ室内楽賞、2003年オーストリア放送Pasticcio賞を受賞。同団のツアーでヨーロッパ各国、北米、南米、イギリス、アイルランド、韓国、日本を訪れた。

古典的なレパートリーからコンチェルトを含む新作の世界初演まで幅広く手掛け、ソリストとしてバイエルン室内アンサンブル、ザグレブ・ソロイスト等との共演、またニコラス・アンゲリッシュ、パトリシア・コパチンスカヤ、ポール・メイェらとの共演をはじめとする数多くの室内楽に参加、ヨーロッパ各国、北米、日本など名だたるコンサートホールや音楽祭で演奏活動を展開している。CDは「Gramola」、「Atlantis Art」のほかBBC、ベルリン・ドイツ放送、バーデン・バーデン南西放送、ラジオフランス等のテレビ・ラジオ放送も多い。

2012年に弦楽オーケストラ「ザ・ヴィルトゥオーゾ・オブ・スプリット」を設立し、指揮者兼芸術監督に就任。

2008年よりクロアチア・スプリット大学芸術アカデミー(Arts Academy of the University of Split)でヴィオラ及び室内楽の教授を務めながら世界各地でソリストまた室内楽奏者、指揮者として活動している。<https://germiart.com/en/artists/wladimir-kossjanenko/>

上杉 春雄 (ピアノ・医師) Haruo Uesugi, Piano

1967年、北海道生まれ。ピアニストとして、ソロ、協奏曲、室内楽などのステージおよびレクチャーを行い、2013年にデビュー25周年を迎えた。PTNAG級金賞・グランプリ、マリア・カナルス国際コンクール上位入賞など入賞多数。

1988年東芝EMIよりCDデビュー、サントリーホール、大阪ザ・シンフォニーホールでのリサイタルを皮切りに、これまで札幌コンサートホールKITARA、紀尾井ホール、浜離宮朝日ホール、Hakuju Hall、兵庫県立芸術文化センター等、全国各地でのソロリサイタルや、札幌交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、東京フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団など共演多数。

ライフワークとするバッハ演奏では、2012年にリリースした「平均律クラヴィーア曲集第1巻」(オクタヴィア)、2018年「ゴールドベルグ変奏曲」(オクタヴィア)が「レコード芸術」誌上で特選盤に選ばれるほか、全国各地でレクチャーを行う。

NHK-FM「名曲リサイタル」、浜離宮ランチタイムコンサート、Hakuju Hall「リクライニング・コンサート」等に出演。また勤務先などでも病院内コンサートを開催、これらの活動はNHK「芸術劇場」、「未来への展望」、読売新聞「顔」欄などで取り上げられている。

執筆、翻訳にも精力的に取り組み、歌唱伴奏を師事した世界的なコレペティトゥアM. カッツ氏の著書「ピアノ共演法」を翻訳(音楽之友社)。また、中丸三千繪、波多野睦美、故G. Sima(元ウィーン国立歌劇場専属歌手)、森麻季らの歌手と共演、器楽奏者では、諏訪内晶子、川本嘉子、藤原真理、A. スコッチチらと共演を重ね、近年は、クロアチアやオーストリアなど海外でのリサイタルも行っている。2007年より「バッハ連続演奏会シリーズ」として、平均律第1巻、第2巻、ゴールドベルグ変奏曲、バルティータを取り上げてきた。2026年平均律クラヴィーア曲集第2巻を録音。北海道大学医学部卒、東京大学大学院医学研究科修了。スウェーデン・ウプサラ大学臨床神経生理部門留学。医学博士、日本内科学会認定医、日本神経学会専門医・指導医。